

2018. JUNE

# 広報 JAだてし

田植えのようす



発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 TEL0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>

JA 伊達市

検索



NO.608

*Japan Agricultural cooperatives*

主な内容

第70回通常総代会開催

てん菜育成調査実施

女性部花壇整備ボランティア

年金友の会パークゴルフ・ゲートボール開幕戦 その他

6月号

今月号のトピックス

第70回通常総代会開催



5月22日(火)、本所2階にて第70回通常総代会が開催されました。

菊谷伊達市長をはじめ、多くの来賓が列席される中、総代138名中本人出席42名委任状出席6名、議決権行使

書82名、合計130名(出席率94%)をもって総代会の成

立が宣言され開会。議事に先立ち永年勤続職員の表彰が行われ、35年勤続を筆頭に19名の職員に感謝状が贈られました。開会にあたり、佐藤組合長

より「昨年度は9月18

日の台風などの気象災害により作物や施設に大きな被害があり、農家収支に大きな影響を与えた。伊達市東関内公共牧場では水源地の崩壊によって施設維持が危ぶまれたが伊達市の協力のもと施設運営が可能となった。

また、国際的には日EUのEPA、アメリカ抜き TPP など国際貿易交渉抜きの TPP



など国際貿易交渉の進展は状況が厳しくなっている。信用事業においても事業運営に関する厳しいルールが適用され監査方法の見直しや黒字経営は必須条件となった。」などと挨拶。

続いて来賓を代表して菊谷伊達市長、小岡広幸 JA 北海道中央会札幌支所長の挨拶の後、議長に稀府地区の馬場旭さん、関内地区の堀籠賢一さんが選出され議事に移り、11件の議案、2件の報告事項、1件の決議事項が上程され、議案については全て原案通り可決されました。

議案第4号の「増資計画」は

平成33年2月末には80歳以上の方の出資額が約1億1千万円になると予想されており平成30年度から平成34年度までの5年間で7,500万円の増資を目標として75歳以下の正組合員世帯にお願いすることとし、76歳以上の正組合員世帯については出資維持と増資に理解を求めるとしました。総合農協としての継続と財務基盤の強化を図るため組合員の皆さまのご理解とご協力をお願いすることです。

今年度の事業方針については、JA北海道大会の決議事項でもある「組合員の所得増大」や「新規担い手対策」、「食と農を通じた活動」を中心に各部門で自己改革に取り組みることとしています。また、関内・長和地区においての国営緊急農地再編整備事業の着工に向けて職員派遣を継続するとともに、耕作面積の維持または規模拡大を目指す経営体の推進といった新たな取り組みが挙げられ、旧来より取り組んでいる事業とともに役職員

一丸となって遂行にあたると思っています。

第70回通常総代会議案

◎議案第1号

平成29年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について

◎議案第2号

賦課金の賦課及び徴収方法について

◎議案第3号

平成30年度事業計画の設定について

◎議案第4号

増資計画の承認について  
※詳細は以下のとおりです。  
平成30年度から平成34年度までの5年間で総額7,500万円の増資を目標とし、75歳以下の正組合員世帯にお願いしたい。

① 組合員1戸における控除前賦課金に対し40%を乗じた額/年



- ② 当組合の正組合員戸数割による平均出資額を下回る者について20,000円/年を加算(1戸平均出資額平準化加算)
  - ③ 経営主が60歳以下の者及び経営主が61歳以上であっても後継者がいる者について
  - ④ 76歳以上の正組合員世帯については出資金の維持並びに増資に理解を求め、個別に対応
- ◎ 議案第5号  
第7次農業振興計画及び中

- 期経営計画の設定について
- ◎ 議案第6号  
役員報酬の支給について
  - ◎ 議案第7号  
定款の一部変更について
  - ◎ 議案第8号  
「規約附属書」役員選任規程の一部変更について
  - ◎ 議案第9号  
規約の一部変更について
  - ◎ 議案第10号  
信用事業規程の一部変更について
  - ◎ 議案第11号  
固定資産の取得について
  - 取得資産  
麦乾施設粉穀タンク整備10,000千円
  - ◇ 報告事項1  
「JAバンク基本方針」の変更について
  - ◇ 報告事項2  
労働保険事務組合の平成29年度徴収・納付状況の報告について
  - 決議事項  
JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議(案)

## 第7次農業振興計画・

### 中期経営計画の概要

平成30年度から平成32年度までの3年間の農業振興計画を平成29年度より新たなプロジェクトチームを立ち上げ第6次農業振興計画・中期経営計画の検証からより細かな計画を作成しました。

先日行われました総代会にて承認いただきました計画は組合員の高齢化と農家戸数の減少、労働力不足による農業生産額の減少から後継者対策や新規就農者の支援や労働力確保、各施設の有効活用など様々な課題があります。

3年間の基本方針は「家族経営の持続的発展と農業の多面的機能の維持」、「地域の未来を創造出来る担い手の育成および支援」、「農業生産基盤の強化と施設の有効活用」となっております。正組合員の皆さまには冊子を配布します。これからの3ヶ年の方針や各部門の事業方針等記載しておりますのでお手元に配布されましたらご覧ください。



### 田植え最盛期

長和地区を中心に田植えが最盛期を迎えました。伊達市の米の作付面積は約215haで、ななつぼしやゆめぴりかが主力となっています。

今年から密苗での栽培を始めた上長和町の八木沼昭一さんは「労働時間の削減や育苗の低コスト化、省力化が期待でき、伊



達のような複合型農業地域では効果があるのではないかと新たな技術の導入に期待していました。

### てん菜生育調査実施



てん菜生産者の熊澤太一さん他4名は、てん菜の栽培技術の向上のため土壌分析や施肥試験を開始しました。

てん菜生産者は約50名で作付面積は310haあり、直播栽培も増えてきました。直播栽培は労働時間の削減など低



コスト化が可能となりますが収量の低下が課題となっています。当JA農産課高木主査は「生産者と協力し、高品質・高収量の栽培へ向けて試験を行い、生産者の所得向上へ最善を尽くしたい」と意欲を高めています。



### 女性部 花壇整備 ボランティア



減反政策や米の直接支払交付金が廃止され、毎年、各水田耕作者へ配分されていた生産数量目標も無くなった現在では、米の自由化が進むことが懸念され、価格の安定のために品質向上や安全・安心な米の生産が必須条件となっています。

水田面積の確保のために北海道全体で米を守り、北海道ブランドの維持、発展へ取り組んでまいります。

### 第1回受精卵移植技術研修会開催

5月17日(木)にJA伊達市にて胆振西部の酪農家や酪農関係者を対象とした受精卵移植技術研修会が開催されました。

酪農家や関係機関など39名が参加し、講師には酪農学園大学名誉教授の小岩政照氏をお招きし「牛の健康」について講義されました。牛の健康管理として病気の予防や治療方法など肺炎、肝変化、乳房炎、下痢の原因などハイレベルな研修会となりました。研修会に参加した当JA畜



産課緒方係は「牛の健康に関しては細部の変化など、牛をよく観察し注意喚起を徹底して、予防や治療に取り組んでいきたい」と今後の抱負を力強く語っていました。



5月25日(金)、JA伊達市女性部(穴戸恵美子部長)の皆さんがマーケット店舗駐車場前の花壇整備ボランティアを行いました。

花壇に植え付けた花苗は部員の皆さんが育てたものでパンジー、マリーゴールド、ピオラ、サルビアなど。彩りがなく寂しかった駐車場も作業終了後には色とりどりの花で飾られ気持ち良くお買い物ができるようになりました。女性部の皆さんありがとうございました。



マーケットへお越しください！



年金友の会

# 年金友の会パークゴルフ・ゲートボール開幕戦

5月26日(土)に伊達歴史の杜ゲートボール場にて平成30年度年金友の会ゲートボール開幕戦が開催されました。6月2日(土)には東関内パークゴルフ場にて同じくパークゴルフ開幕戦が開催されました。成績は以下の通りとなっています。

## ○ゲートボール開幕戦

### 優勝 ハチム

東海林 信雄、加藤 恵一  
加藤 イツ、伊藤 喜枝

### 2位 イチム

太田 智、三戸部 正次郎  
堀 智博、平泉 国子

### 3位 ロチム

川村 弘人、大友 末子  
星 つるよ

## ○パークゴルフ開幕戦

### 男性の部

1位 佐藤 繁  
2位 澁木 国嘉  
3位 北藤 孝通  
4位 篠原 裕治  
5位 堀 次男

### 女性の部

1位 篠原 ミヤ子  
2位 伊藤 喜枝  
3位 北藤 洋子  
4位 長谷川 貞子  
5位 紺野 ヤエ

### ホールインワン賞

森 悟  
荒 厚子

### ブリービー賞

太田 智  
細川 タカ子



## 日本農業新聞購読

月～土発行（日曜及び新聞休刊日を除く）

お近くの新聞販売店からお届けします。

月額購読料：2,520円（税込）

10月予定の購読推進期間中のお申込みで1か月無料お届け！

※次月より購読料がかかります。

ぜひ、ご購入をお願いします。

問い合わせ：J A伊達市 営農指導課まで

第3号

各課紹介

## 信用部 営農融資課

課長 上坂 悟 (上段中央)  
係長 高橋 功次 (上段左)  
主査 佐藤 史尚 (上段右)  
係 平川友里花 (下段左)  
係(臨時) 白石 彩佳 (下段右)



### コメント(上坂課長)

担い手農業者の確保や育成を支援し、農業経営の健全化を図れるよう提案していきたいと思っておりますのでご遠慮なくご相談してください。

### 広報担当より

昨年度より営農相談部がなくなり営農融資課は信用部となりました。組合員の皆さまの信頼を更に得るために、あらゆる方法で支援・育成を考えてくれると思っておりますので営農融資課への相談等お待ちしております！

次号は購買部生産資材課を紹介いたします。



**資材課（グリーンセンター）からのお知らせ**

**組合員の皆さまへ**

日頃より御愛顧頂きありがとうございます。

肥料や農業等の商品の払い出し時の名前や商品、数量、規格等の誤りにより組合員の皆さまにご迷惑をおかけしないよう伝票へ起票後に払い出しさせていただきます。

ご協力のほどよろしく願いいたします。

問い合わせは、グリーンセンター TEL0142-23-6115までお問い合わせください。

**共済課・営農融資課からのお知らせ**

**共済課・営農融資課受付窓口レイアウト変更に伴う休業日のお知らせ**

このたび誠に勝手ながら7月14日(土)にレイアウト変更を行うため共済課業務をお休みさせていただきます。

なお、7月17日(火)から共済課受付窓口は本事務所正面玄関側（現クミカン窓口）となります。期間中はご不便おかけいたしますが何卒ご承知置き下さいますようお願い申し上げます。

**農産課からのお知らせ**

**国際農業機械展(帯広)視察研修開催(先着40名限定)**

伊達市米麦改良協会、伊達市甜菜振興協議会、伊達市豆作振興協議会、伊達市農協籾殻利用組合では7月14日(土)に帯広市で行われます国際農業機械展へ視察研修を開催します。4年に1度しか行われない大きなイベントに参加しませんか？

※行程表（7月14日(土)）

JA 伊達市麦乾施設 6時30分 出発

会場（帯広市） 10時00分 到着

○昼食は各自負担でお願いします。（会場で「とち食彩祭」が同時開催されています）

会場（帯広市） 14時00分 出発

○その後千歳市にて夕食後19時ごろ麦乾施設に到着する予定です。

○負担金

会員区分	負担金
伊達市米麦改良協会 伊達市甜菜振興協議会 伊達市豆作振興協議会 伊達市農協籾殻利用組合	5,000円
上記以外の方	8,000円

○クミカン又は普通貯金から徴収いたします。

○お問い合わせについては農産課 TEL0142-23-2181まで

※申込み締切：6月29日(金)まで



# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実績やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA北海道

### 中央会



本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJA広報誌を中心に好評連載中の「続今こそJA」を、ご紹介します。今年、協同組合の原点である「ロッチアール原則」を再確認するほか、JAグループが取り組む自己改革のご紹介を通じて、協同組合の



大会ではゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴをつけたランナーを応援するとともに、特設ブースにちよリスも駆け付け、春のワクワクもらエールキャンペーンのPRや抽選による日本ハム戦チケットプレゼント企画を行って大会を盛り上げました。



## ホクレン



歴史と経過を振り替える全12回の連載としております。組合員に限らず、JA広報誌を購読する地域の皆さんにも、私たち協同組合の成り立ちや活動を知ってもらい、共感して頂きたいと考えております。

ホクレンは3月14、15日に新たな販路開拓に向けて食品バイヤーを対象にした「第12回JAグループ国産農畜産物商談会」(東京国際フォーラム)に出展しました。「北海道こめ油」や「てんさい糖」、乳製品などを幅広く紹介したほか、ボトル形状やデザインをリニューアルしたホクレンの顆粒片栗粉

「とろりんばつ」を使ったから揚げや角煮の試食を提供し北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力を伝えました。

## JA共済連 北海道



JA共済連では、今年もスタントマンによる交通事故の再現により危険性を疑似体験(スケアードストレイト技法)させる交通安全教室を道内8つの高等学校で開催しました。体験した生徒からは「危険を再認識した」「ルールを守り気をつけていきたい」などの感想が寄せられました。このような活動で交通事故が減り安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたいと考えています。

## JA北海道 厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非「一読ください」。





主な登場人物

熊さん



江戸っ子

短気でせっかち、あわてんぼう。だけど気のよいチャキチャキ江戸っ子。

大工の見習いで、親方にいつもこき使われている。

八つあん



食いしん坊

のんきで大らか、食いしん坊。子どものように純朴でまっすぐな根性の持ち主。

熊さんを慕って、いつも後をついて歩いている。



ご隠居



重鎮

横町の重鎮。長屋の住人たちのよろず相談役で、熊さん八つあんにとって先生のような存在。

「協同組合」について、やけに詳しい。

農業振興と地域貢献

熊さん：それにしてもご隠居いきなりでしたね。

ご隠居：何がじゃ？

熊さん：ほら、こないだまで横丁の先にあった銀行ですよ。いつの間にかやら閉鎖されちゃった。

ご隠居：うむ、それが企業と

いつものじゃ。

経営状態が悪ければ一方的に事業を縮小する、採算が合わなければその地域から撤退する。そういうものじゃよ。

熊さん：それにしても、あれじゃまるで夜逃げですよ。

社員や家族は大変だあ。

ご隠居：JAなら、そんなことはないぞ。

八つあん：どうして？

ご隠居：それはな八つあん人々がかなえない願いや解決したい悩み・課題をみんなで力を合わせることで実現する、それが協同組合だからじゃ。

さらにいうならJAの使用命は地域の農業を盛り立てていくことにあるからじゃ。

熊さん：ふーん？

ご隠居：そもそも農業というのは、大地で作物を育てる仕事じゃって。

当然、組合員農家は農地があるその場所と密接なつながりをもつ。じゃからこそ、農協は地域と関わり続

けるんじゃ。

「農協は地域から逃げられない」といわれる理由はそこなんじゃよ。

熊さん：けどねえ……ひと口に地域ついてもこのご時世農業だけじゃなし、いろいろ大変じゃないですか。

ご隠居：そうじゃな。人口減少、少子高齢化……。医療や年金、福祉と、将来の負担は増える方じゃし、過疎化で、集落を維持することさえできん地域もある。

熊さん：それですよそれ。

ご隠居：じゃがな熊さん、こうした問題は何も農村に限ったものじゃないぞ。

駅前商店街がシャッター通りになっていたり、高度経済成長時代のニュータウンが居住者の高齢化でオールドタウンになったり、都市も深刻な問題を抱えておる。

八つあん：どこもかしこも大変なんだねー。

ご隠居：そうじゃよ八つあん。だからこそ、行動組合の地

域貢献(キーワード1)が注目されるんじゃ。

熊さん：だけにご隠居、JAは農業団体でしょ？何でそんなことするんですか？

ご隠居：JAが捉える「農」というのは、もっと広い意味なんじゃ。

お前さんたちが口にする食べ物のことやの農村の暮らし、自然環境までも含まれておるんじゃぞ。





八つあん：食べ物も？

ご隠居：うむ。たとえば農産物の直売所を開設し、地域の人に地元でとれた新鮮な農産物を提供する。あるいは地域の学校給食に地元食材を供給する。こういう取り組みもその一環なんじゃ。

田畑を利用して、子どもたちに農業体験の場を作ったりしておるんじゃ。

熊さん：何でそんなことまでするんですか？

ご隠居：農業や食の大切さを多くの人に知ってもらうこと



とも、JAの重要な役割だからな。

八つあん：どうして？

ご隠居：農業や食料の問題を理解してくれる人が増えることこそ、将来、地域の農業を支える力になるからじゃよ。

熊さん：なるほどねー。

ご隠居：もちろん、それだけが目的じゃないぞ。地域の社会活動にも積極的に関わっておる。

たとえば日常の買い物にも不便な過疎地では、JAが移動購買車や移動金融店



舗を巡回させておる。河川や用水路の掃除といった環境保全、伝統行事やお祭り郷土料理といった農村文化を守る活動にも取り組んでおる。

高齢者や子育て世代への支援、趣味・サークル活動など、地域の暮らし全般を積極的に応援しておるんじゃ。

熊さん：そんなことしてもうかるんですか？

ご隠居：熊さんや、前にも言ったが、JAは民間の企業や株式会社のようにもうけを最優先にした組織じゃないんじゃよ。こうした活動を続ける根底には、農村に昔からある「結の精神」、つまり助け合いの心があるんじゃ。

熊さん：なるほどねえ……。しかしまた何でご隠居は、協同組合のことそんなに詳しいんですかい？

ご隠居：つつつつ、それはじゃな……。



▼キーワード  
「地域を支えるJAの様々な活動」

共済の基本理念は「相互扶助」であり、営利目的ではない。JAでは地域やくらしを総合的に支える、様々な活動（JAくらしの活動）に取り組んでいる。

その範囲は、食農教育をはじめ、環境保全、高齢者の生活支援、子育て支援、女性を対象とした女性大学など多岐にわたる。

これらは協同組合の第7原則「地域社会への配慮」にも明記されており、「協同組合は、組合員がよいと思うやり方によってその地域社会への永続的な発展に努める」とある。

農と食の  
総合雑誌

# 地上

GOOD EARTH

お申し込みは JAへ

定価(税込み) / 普通月号……590円  
付録付号(5・11月号)……650円

JAの家庭雑誌 お申し込み受付中

あなたの元気がわたしの元気

# 家の光

定価(本誌とも) **980円**

## 理事会のうごき

第18回理事会…平成30年5月28日(月)

- ▶ 個別担保評価の見直しについて
- ▶ 平成30年度 組合員信用限度・クミカン供給限度・貸越極度査定書について
- ▶ 理事との買取販売取引の包括的承認について
- ▶ 平成29年度決算自己監査回答(案)について
- ▶ 平成29年度JAバンク基本方針に基づく財務モニタリングの報告について
- ▶ 行政庁への業務報告書の提出について
- ▶ 理事の報酬額(案)について
- ▶ 第7次農業振興計画の取り進めについて
- ▶ 平成30年度 コンプライアンスプログラム実施計画について
- ▶ JA全国監査機構による一般監査について
- ▶ 第1・四半期自己監査日程について

## 5月号で掲載いたしました 記事の訂正とお詫び

### ○麦乾施設精米業務休日のお知らせ

誤) 5月1日(火)～8月末日までの閑散期において日曜・月曜及び祝日の精米業務を休止させていただきます。何卒ご理解の程よろしくお願い致します。

正) 5月1日(火)～8月末日までの閑散期において土曜・日曜及び祝日の精米業務を休止させていただきます。何卒ご理解の程よろしくお願い致します。

問合せ先 (農産課)

本 所 TEL 0142-23-2181

麦乾施設 TEL 0142-23-2458

### ○新規就農者紹介記事 (指導者名)

誤) 佐藤 秀明 → 正) 佐藤 英明

関係者の皆さま並びに組合員の皆さまに深くお詫びし訂正いたします。



## 未来を変える。 みんなで作る。

### 国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.12

#### 地区説明会を開催しています

5月21日(月)～6月18日(月)にかけて、関内・長和の両地区で、農事組合単位の地区説明会を開催しています。

今回の説明会では、「事業費償還準備積立金制度」の内容や昨年12月に行った「換地アンケート」の結果等についての説明を行い、受益者の皆さんからは多くのご意見・ご質問をいただいています。

説明会に参加できなかった方や農事組合に加入していない土地所有者、関内・長和地区の農地で他地区から耕作している方は、下記の日程で全体の説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

●日時 平成30年6月18日(月) 午後6時30分～

●場所 伊達市市民活動センター

#### 意向調査にご協力ください

昨年度もご協力いただいた「意向調査」を5月～10月にかけて再度実施しています。

今回の意向調査を基に受益地を確定することから、「不参加」とした農地は今後事業に参加することができません。優良農地をより多く確保するために、皆様のご参加をお願いします。

また、今年度の調査として、現況の農地、用排水路の状況調査等を行うため、6月から12月にかけて、業者(株)農土コンサルが農地等に立ち入ることもありますので、ご理解とご協力をお願いします。



#### ◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業

促進期成会事務局

(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内)

Tel.0142-23-3331 内 538)